

楽しく近所付き合い

中区

交流型集合住宅セミナー

入居者同士の交流を重視した集合住宅の在り方を考えるセミナーが二十五日、広島市中区の市まちづくり市民交流プラザで同法人が東区牛田旭でコ

ーディネットするプロジェクトなどを題材に、集合住宅のメリットや課題を探った。

子准教授が「住まい手が主役―新たな集合住宅の可能性」のテーマで講演。庭造りを協力して進め、入居者同士がきずなを深めた京都市の分譲マンションの例を挙げ「話し合いは面倒だが、豊かな人間関係が築ける」と強調した。(境信重)



交流型の集合住宅の在り方について話し合ったセミナー

プロジェクトは、住人が間取りなど設計段階からかわり、賃貸住宅を建設する全国でも珍しい試み。二〇一〇年春の完成予定で、二十一―三十世代を目標に入居者を募る。交流の場づくりなど入居者による検討会を重ねる予定で、同会の宮本茂副理事長は「重荷にならず楽しんで参加するのが基本。交流型の意義をどう伝えるかも課題だ」と説明した。

広島工業大の福田由美